

けんぼんちやくしょくりしゅえまんだらず 絹本着色理趣会曼荼羅図

平成8年3月9日 八潮市指定有形文化財（絵画）

●八潮市大字八條 1763 番地（清勝院）

理趣会曼荼羅は、^{こんごうかいまんだらくえ}金剛界曼荼羅九会のうち、上段右端の^{りしゅきょう}理趣経に基づく曼荼羅である。本紙の大きさは、縦が95.75センチ、横が60.0センチ、制作は室町時代頃と推定される。

内院中央に^{ちゆうぞん こんごうざつた}中尊の金剛薩埵（真言密教を相承した八人の祖師の第二祖）、四方に取り囲むのは、^{よく そく あい まん し こんごう ぼさつ}欲・触・愛・慢の四金剛菩薩、^{し こんごうじよ}四隅に四金剛女を配する。外院は^{れんげからくさじ}蓮華唐草地、四隅に内の^{しきようぼ}四供養菩薩（^{きつ}金剛嬉、^{きつ}金剛鬘、^{きつ}金剛歌、^{きつ}金剛舞）、四方に^{ししきようぼ}四摂菩薩（^{きつ}金剛鉤、^{きつ}金剛索、^{きつ}金剛鎖、^{きつ}金剛鈴）を配する。

1.8ミリの^{きんきりがねもん ほどこ}金切金文を施した緑青地と、白緑地を交互に組み合わせた内院の意匠はみごとであり、全体の彩色も華麗である。独立した彩色の理趣会曼荼羅の作例は数が少なく、貴重である。



◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：清勝院山門（常時公開）

絹本着色虚空蔵菩薩像（非公開）

紙本着色不動明王二童子像（非公開）

木造不動明王立像（非公開）

◎交通案内

- ・八潮市コミュニティバス北ルート「和平橋」下車すぐ
- ・草加駅東口または八潮駅北口からバス（八潮団地行）「八潮団地」下車徒歩2分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。